

XVI. 地域の生活環境について（問 38(1)～(22)）

ここでは、「十分満足である」「まあ満足である」「どちらとも言えない」「やや不満である」「非常に不満である」の回答者数に、各々+2点、+1点、0点、-1点、-2点を掛け合わせ、その合計を回答者数で割ったもの（平均点）を「満足度評価」として分析し、平成17年度調査以降9年間と今年度実施による結果の比較を行う。

※平均点による満足度の評価（凡例）

-0.3	-0.1	0	0.1	0.2	0.4	
非常に低い	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	非常に高い

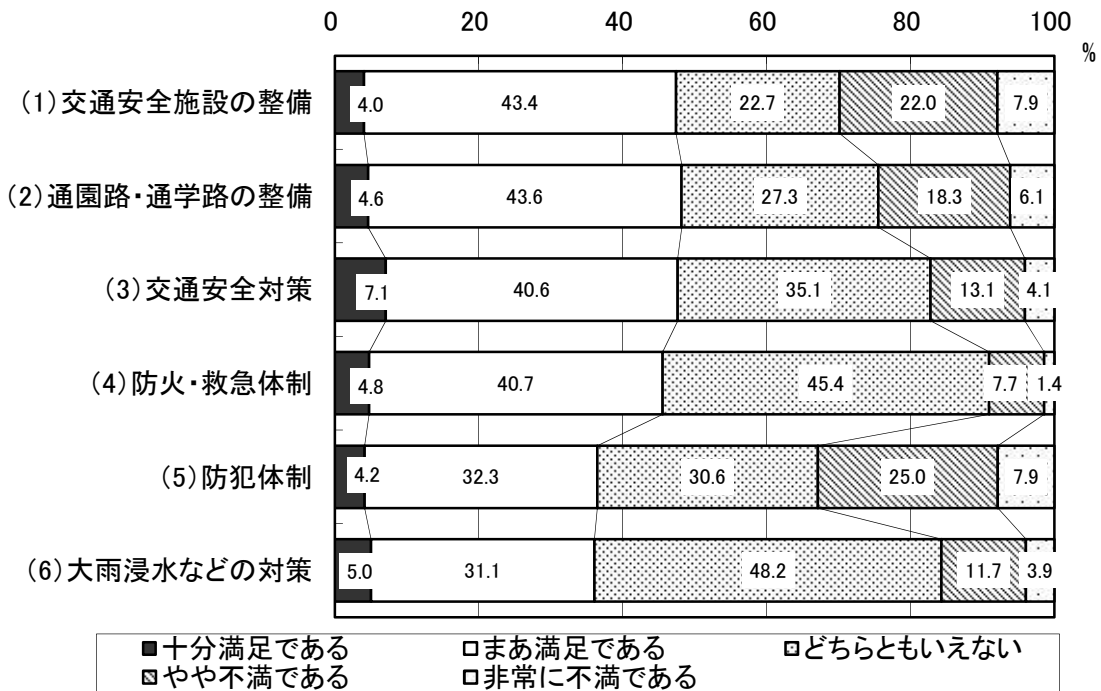
【問 38(1)～(6)】「安全性」について

地域の生活環境の安全性について、「十分満足である」と「まあ満足である」を合わせた割合は、「通園路・通学路の整備」、「交通安全対策」が約 48%で最も高く、次いで「交通安全施設の整備」(約 47%)、「防火・救急体制」(約 46%)が続いている。

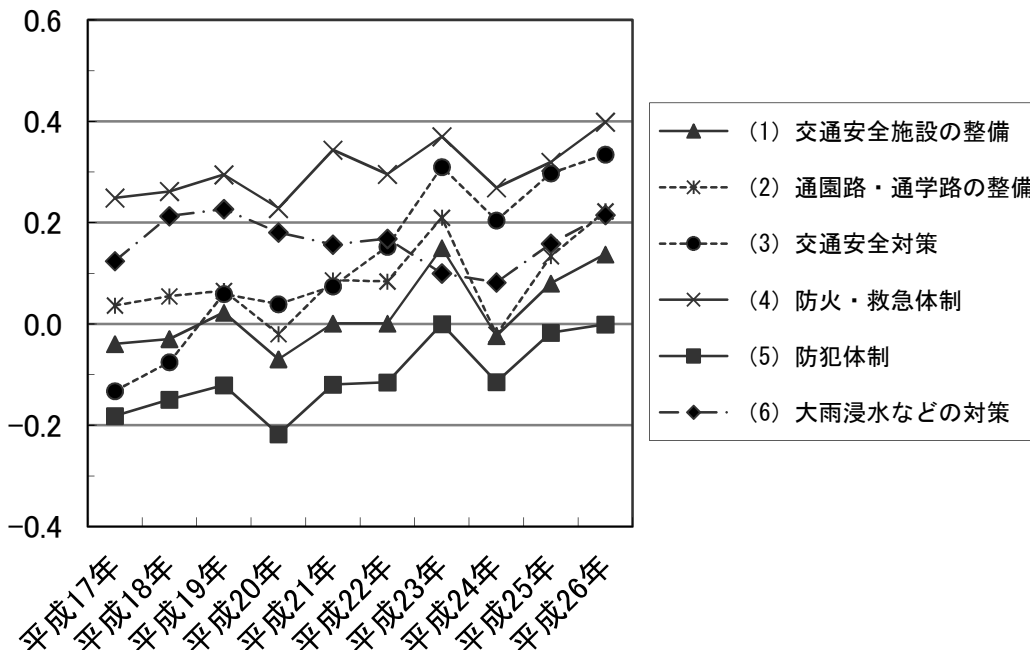
一方「防犯体制」については、不満に思っている人が約 33%を占めている。

【問 38】あなたが住んでいる身近な地区（小学校区）について、どの程度満足していますか（安全性）。

n1=2,053 n2=2,093 n3=2,077 n4=2,064 n5=2,093 n6=2,061



平成 17 年度以降 10 年間の満足度評価の比較（安全性）



(1) 道路照明・ガードレールなど交通安全施設の整備

全体の約 47%が満足（「十分満足である」と「まあ満足である」の合計で以下同じ）、約 30%が不満（「非常に不満である」と「やや不満である」の合計で以下同じ）と回答している。平均点は 0.14 で、満足度は安全性の 6 項目の中で 2 番目に低い。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は昨年から上昇し、「やや高い」となった。

(2) 通園路・通学路の整備

全体の約 48%が満足、約 24%が不満と回答している。平均点は 0.22 で、満足度は安全性の 6 項目の中で中位に位置する。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は昨年から上昇し、「高い」となった。

(3) 放置自転車・違法駐車など交通安全対策

全体の約 48%が満足、約 17%が不満と回答している。平均点は 0.33 で、満足度は安全性の 6 項目の中で 2 番目に高い。

平成 17 年度が過去 10 年間で最低の満足度であったが、平成 17 年度以降、現在に至るまで満足度が大きく改善されている。本年度は昨年度より上昇し、満足度は「高い」状態にある。

(4) 防火・救急体制

全体の約 46%が満足、約 9%が不満と回答している。平均点は 0.40 で、満足度は安全性の 6 項目の中で最も高い。

過去からの調査結果を比較すると、平成 17 年度以降、満足度は「高い」状態を維持している。

(5) 照明灯の整備など防犯体制

全体の約 37%が満足、約 33%が不満と回答している。平均点は 0.00 で、満足度は安全性の 6 項目の中で最も低い。

平成 17 年度以降、現在に至るまで改善傾向にあり、満足度は昨年から上昇し、「やや低い」となったが、安全性 6 項目の中で最も低い満足度となっている。

(6) 大雨浸水・ガケ崩れなどの対策

全体の約 36%が満足、約 16%が不満と回答している。平均点は 0.22 で、満足度は安全性の 6 項目の中で中位に位置する。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い水準で推移しており、昨年から上昇し、「高い」となった。

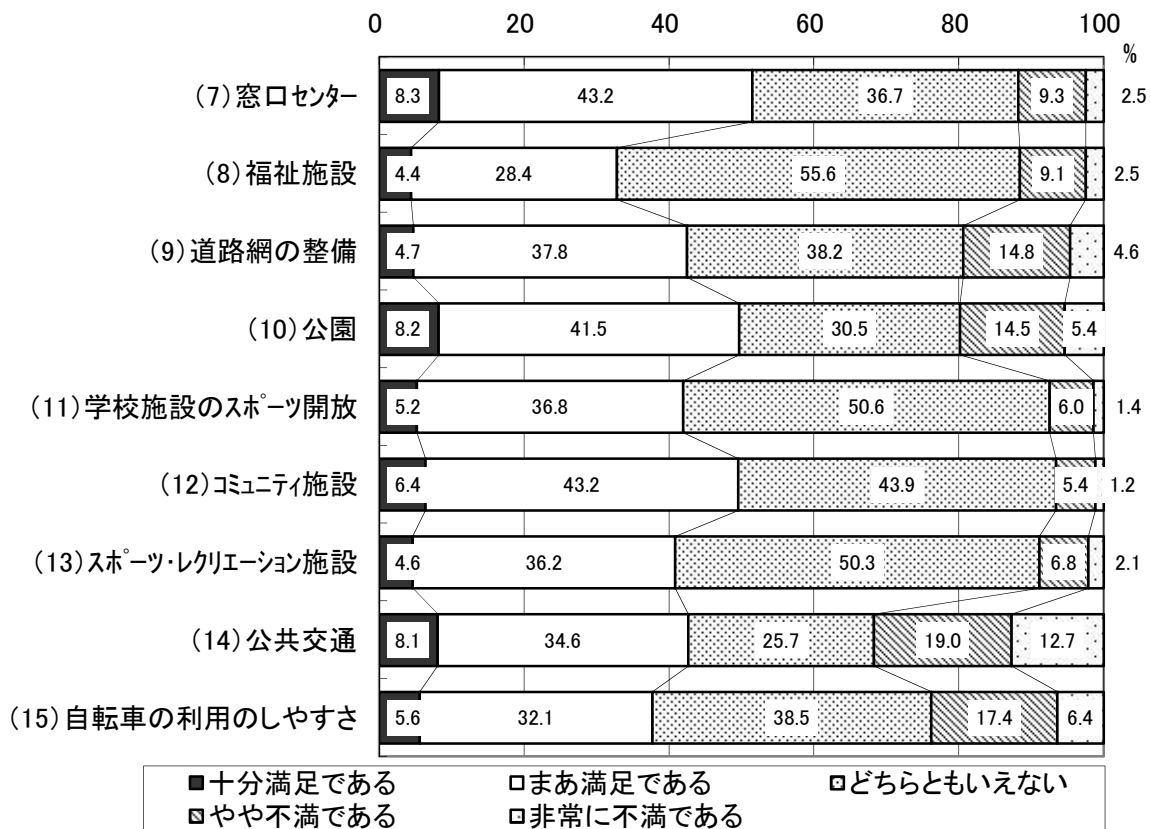
【問 38(7)～(15)】「利便性」について

地域の生活環境の利便性について、「十分満足である」と「まあ満足である」を合わせた割合は、「窓口センター」に満足している人が最も多く約 52%を占めている。次いで「公園」(約 50%)、「コミュニティ施設」(約 50%)が続いている。

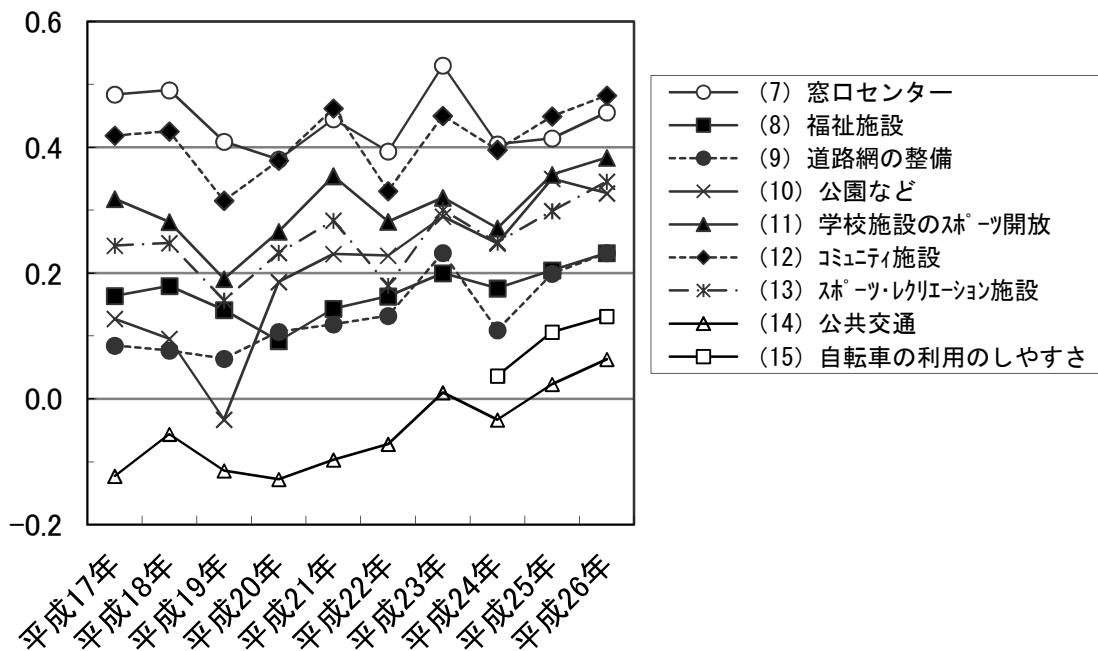
一方「公共交通」については、不満に思っている人が約 32%を占めている。

【問 38】あなたが住んでいる身近な地区（小学校区）について、どの程度満足していますか（利便性）。

n7=2,079 n8=2,057 n9=2,081 n10=2,083 n11=2,058
n12=2,082 n13=2,053 n14=2,105 n15=2,071



平成 17 年度以降 10 年間の満足度評価の比較（利便性）



(7) 窓口センター

全体の約 52%が満足、約 12%が不満と回答している。平均点は 0.46 で、満足度は利便性の 9 項目の中で 2 番目に高い。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い水準で推移しており、本年度も昨年度と同様に、評価は「非常に高い」状態である。

(8) 老人福祉センターなど福祉施設

全体の約 33%が満足、約 12%が不満と回答している。平均点は 0.23 で、満足度は利便性の 9 項目の中で 7 番目となった。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い状態で推移しており、本年度も昨年度より上昇し、評価は「高い」状態である。

(9) 道路網の整備

全体の約 43%が満足、約 19%が不満と回答している。平均点は 0.23 で、満足度は利便性の 9 項目の中で中位に位置する。

過去からの調査結果を比較すると、平成 17 年度以降、満足度は現在に至るまで改善傾向にある。本年度も昨年度より上昇し、評価は「高い」状態である。

(10) 公園など

全体の約 50%が満足、約 20%が不満と回答している。平均点は 0.33 で、満足度は利便性の 9 項目の中で中位に位置する。

過去からの調査結果を比較すると、満足度の低下と上昇を繰り返しつつも高い水準に位置し、評価は「高い」状態である。

(11) 学校施設のスポーツ開放など

全体の約 42%が満足、約 7%が不満と回答している。平均点は 0.38 で、満足度は利便性の 9 項目の中で 3 番目に高い。

過去からの調査結果を比較すると、平成 19 年に一時低下したが、満足度は高い水準で推移している。本年度は昨年度よりも上昇し、評価は「高い」状態である。

(12) 地区市民館・校区市民館などコミュニティ施設

全体の約 50%が満足、約 7%が不満と回答している。平均点は 0.48 で、満足度は利便性の 9 項目の中で最も高い。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い水準で推移しており、本年度は昨年度よりも上昇し、評価は「非常に高い」状態である。

(13) 地区体育館などスポーツ・レクリエーション施設

全体の約 41%が満足、約 9%が不満と回答している。平均点は 0.35 で、満足度は利便性の 9 項目の中で中位に位置する。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い水準で推移しており、本年度は昨年度よりも上昇し、評価は「高い」状態である。

(14) 公共交通の利用のしやすさ

全体の約 43%が満足、約 32%が不満と回答している。平均点は 0.06 で、満足度は利便性の 9 項目の中で最も低い。

平成 17 年度より満足度は現在に至るまで改善傾向にある。本年度は昨年度よりも満足度が上昇し、評価は「普通」状態である。

(15) 自転車の利用のしやすさ

全体の約 38%が満足、約 24%が不満と回答している。平均点は 0.13 で、満足度は利便性の 9 項目の中で 2 番目に低い。

平成 24 年度より追加された項目で、満足度は昨年度よりも上昇し「やや高い」状態である。

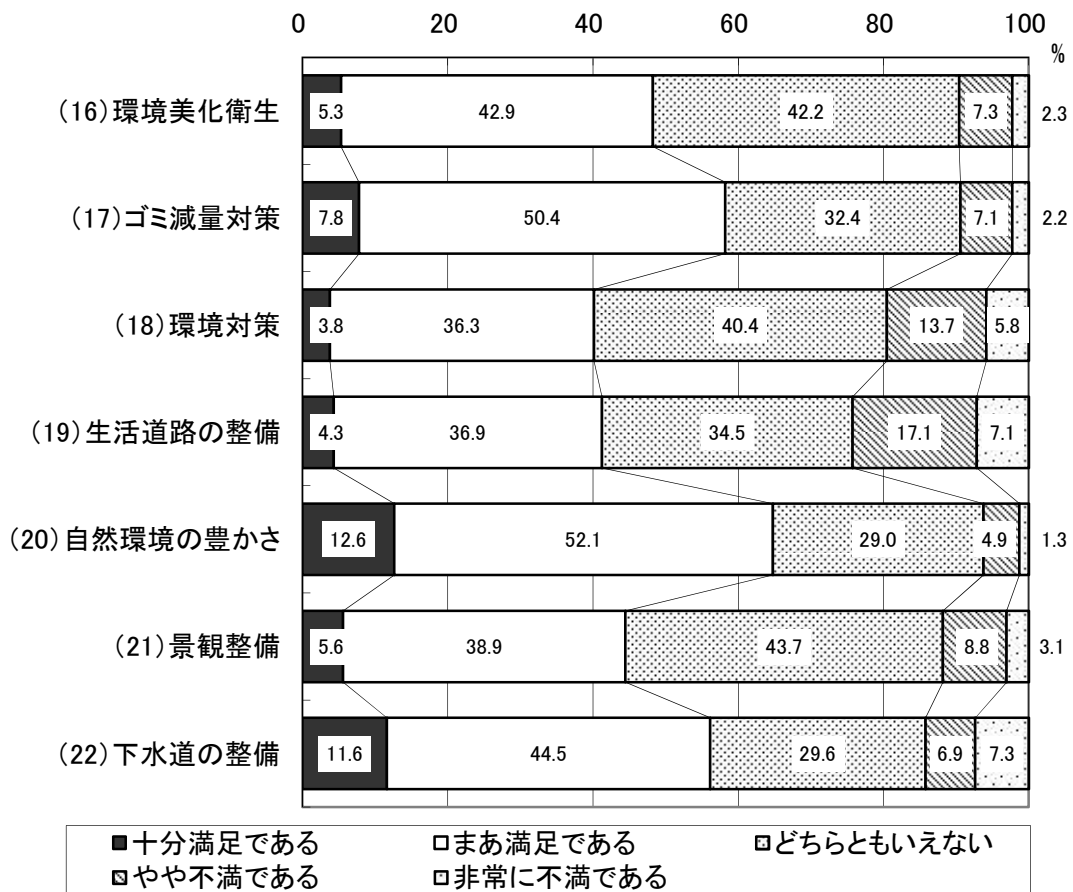
【問 38(16)～(22)】「快適性」について

地域の生活環境の快適性について、「十分満足である」と「まあ満足である」を合わせた割合は、「自然環境の豊かさ」が約 65%で最も高く、次いで「ゴミ減量対策」(約 58%)、「下水道の整備」(約 56%)、「環境美化衛生」(約 48%)が続いている。

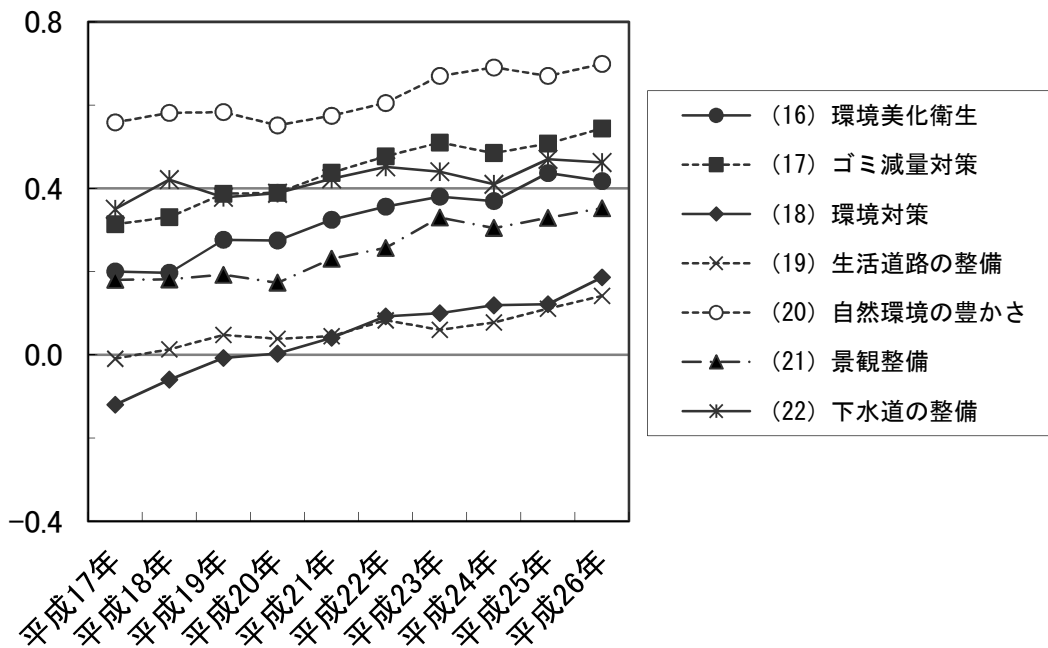
一方「生活道路の整備」については、不満に思っている人が約 24%を占めている。

【問 38】あなたが住んでいる身近な地区（小学校区）について、どの程度満足していますか（快適性）。

n16=2,087 n17=2,101 n18=2,081
n19=2,091 n20=2,103 n21=2,091 n22=2,110



平成 17 年度以降 10 年間の満足度評価の比較（快適性）



(16) まちをきれいにする運動など環境美化衛生

全体の約 48%が満足、約 10%が不満と回答している。平均点は 0.42 で、満足度は快適性の 7 項目の中で中位に位置する。

過去からの調査結果を比較すると、平成 17 年度以降、満足度は現在に至るまで改善傾向にあり、評価は「非常に高い」状態である。

(17) 資源回収などのゴミ減量対策

全体の約 58%が満足、約 9%が不満と回答している。平均点は 0.54 で、満足度は快適性の 7 項目の中で 2 番目に高い。

過去からの調査結果を比較すると、平成 17 年度以降、満足度は現在に至るまで改善傾向にある。本年度は昨年度よりも上昇し、評価は「非常に高い」状態である。

(18) 騒音・悪臭・河川の浄化などの環境対策

全体の約 40%が満足、約 20%が不満と回答している。平均点は 0.19 で、満足度は快適性の 7 項目の中で 2 番目に低い。

過去からの調査結果を比較すると、平成 17 年度以降、現在に至るまで改善傾向にある。本年度は昨年度よりも上昇し、評価は「やや高い」状態である。

(19) 道路・側溝など生活道路の整備

全体の約 41%が満足、約 24%が不満と回答している。平均点は 0.14 で、満足度は快

適性の 7 項目の中で最も低い。

過去からの調査結果を比較すると、平成 17 年度以降、満足度は現在に至るまで改善傾向にある。本年度は昨年度よりも上昇し、評価は「やや高い」状態である。

(20) みどり、自然環境の豊かさなど

全体の約 65%が満足、約 6%が不満と回答している。平均点は 0.70 で、満足度は快適性の 7 項目の中で最も高い。

過去からの調査結果を比較すると、満足度の評価は「非常に高い」状態を維持している。

(21) 美しいまちづくりのための景観整備

全体の約 45%が満足、約 12%が不満と回答している。平均点は 0.35 で、満足度は快適性の 7 項目の中で 3 番目に低い。

過去からの調査結果を比較すると、平成 17 年度以降、満足度は現在に至るまで改善傾向にある。本年度は昨年度よりも上昇し、評価は「高い」状態である。

(22) 下水道の整備

全体の約 56%が満足、約 14%が不満と回答している。平均点は 0.46 で、満足度は快適性の 7 項目の中で 3 番目に高い。

過去からの調査結果を比較すると、満足度は高い状態を維持している。本年度は昨年度よりもやや下降しているが、評価は「非常に高い」状態である。